

公表：令和2年10月17日

事業所名 こどもプラス神埼教室

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	1		5	・整理整頓し、活動スペースの確保に努めています。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	3	2	・待機職員が少ない時がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	2	・玄関に段差があるが、必要な時はステップや手すりを設置できる。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	1	5		・ミーティングによる共通理解のもとに全職員が目標設定と振り返りができている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2		・毎年アンケートを実施し、その結果を参考に改善に努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	1		・ホームページ掲載に加え、書面でも保護者への配布を行っている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3		・実地指導や巡回指導で行っている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2		・定期的に研修を行っている。
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			・定期的にアセスメントの見直しをしている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	4		・更新したアセスメントをもとに毎日の児童の状況も考慮し、全職員で尽力している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		・毎日ミーティングにて話し合いをしている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	2		・運動用具を使った体を動かす活動が多い。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	5		・事前に1日のスケジュールを児童たちに伝える。

	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	1		・児童の様子を見て必要であれば、静養室などを利用し個別での対応をしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			・毎日ミーティングをし変わった様子などを報告し合う。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	2		・変わったことがあった場合は行い記録をしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1		・提供内容記録を徹底し、計画書に沿って支援を行う。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			・定期的にモニタリングを行う。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6			・毎月配布されている資料をもとに支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2		・児発管が行っている。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6			・変更などあった場合、すぐに連絡をとることができる。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2	1	・現在は医療的ケアが必要な児童の利用はない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	4	1	・保育所等での情報共有はあまりできていないため、今後は連携を取る必要がある。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	4	1	・まだ該当する児童がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	4		・職員が受講している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	3	1	・支援学校や普通学校に通学する児童と接することが多くある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	1	4	・地域交流の参加を増やす。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			・連絡帳や送迎時に保護者に教室での様子を伝える
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	4		・数人の保護者には行えている。

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	1		・契約時に丁寧に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			・相談等があった場合は応じている。送迎時の会話などその都度ミーティングで話し合っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1		5	・現時点では保護者からの要望は無い。それぞれの家庭の意見を尊重すべきだと思っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		・苦情があった場合は記録を残し、職員同士で話し合い把握、改善に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1		・月1回のお便りを出している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			・常に意識を高め書類等は施錠を徹底している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			・FC研修等を職員全員が目を通し、ミーティングでも話し合い、研鑽している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	2	・現時点では行えていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		・保護者や児童も確認できるように掲示している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			・年2回行っている。児童と一緒に必要な訓練を取り入れている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			・研修やミーティングで話し合いをする。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2		・身体拘束の必要性は、他害や自傷行為のある児童に対しては支援計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	3		・保護者と話し、きちんと配慮できている。おやつ等は自宅より持参してもらい手洗い掃除を行う。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1		・事案が発生した時は記録し、その都度スタッフ間で話し合いを行う。小さなことでもヒヤリハットを作成している。